

富山県立魚津高等学校 アメリカ研修二日目報告書

本日から語学学校 Kaplan でのプログラムがスタートしました。まずは 9:00 の集合時間間に合うかが大きな課題でしたが、残念ながら約半数は遅刻する結果となりました。電車を逆方向に乗ってしまった、バスが遅れたなど理由はありますが、事前の準備不足や想定外のことが起こった際の行動を考えられていなかった結果と言えます。生徒によっては数時間しか寝られていないような状況の中で酷なこととは思いますが、きちんと間に合っているペアもあり、今後の行程の為に原因や対策を考えてもらいました。

学校初日はプレイズメントテストとオリエンテーションが行われました。ライティングやリーディングなどは比較的簡単だったようですがリスニングは難しい上、睡眠不足で集中力が途切れそうになったそうです。このテストの結果、皆さんは 4 つのクラスに振り分けられました。今日はブラジル、イタリア、トルコなどの方たちも新入生として一緒にプレイズメントテストを受けていました。彼らと同じクラスになれるかどうかはまだわかりませんが、学校の中に様々な国籍の生徒がいる環境を活かし、明日からどのような時間を過ごすのか楽しみです。

テストが終わると学校スタッフから Kaplan のルールやホームステイをするに当たってのアドバイスがありました。そこでも寝不足やテストの疲れもあるのか、なかなかスタッフの問いかけに答えることができない生徒たち。一人が声を上げると、それにつられるように皆反応を示すようになりました。

ランチが終わるとまず、学校のすぐ裏手にあるフェンウェイパークまで歩いて向かいました。MLB レッドソックスの本拠地でもある歴史のある球場です。野球に興味のある生徒は特に興味津々で写真を撮っていましたが、深夜の到着から今朝の登校も緊張の連続で、生徒たちにとってはようやくアメリカの街並みに目を向けられる時間となりました。

その後はボストンの歴史を歩いて辿るフリーダムトレイルです。3つのグループに分かれ出発地点に向かっていると、生徒たちの目をくぎ付けにするものが現れました。ボストンコモンに生息するリスです。日本ではなかなか見ることができないため、見つける度に一斉にカメラを向ける姿にガイド役の先生も思わず苦笑。先生からもこれは日本では何て言うの？と質問をしたり、“squirrel” という単語の発音を練習したりと、英語の勉強も兼ねながらツアーがスタートしました。歴史についての解説は耳慣れない単語も多く、理解することは容易ではありませんが、ここでも興味をひかれたものを写真に収め、一生懸命先生の案内に耳を傾けていました。

生徒にとって本日最後のアクティビティは、各自無事に帰宅することです。フリーダムトレイル終了後、どの駅からどのように帰るか各ペアで相談し帰路につきました。最後まで緊張感溢れる学校初日となりました。



クラス分けの発表



学校についてのオリエンテーション



地下鉄でフリーダムトレイルに出発！



ボストンコモンのリスに夢中



ボストンの歴史について



日本にまつわる内容に興味津々



先生の話に聞き入る生徒たち



ファニユエルホール前で